

令和6年10月23日(水) 15:00~16:30 福岡県糸田町 視察報告

於) 糸田町役場 ⇒ 道の駅いとだ (おじゅごんち市場からすお)

「道の駅いとだについて」

【糸田町について】

面積約8㎢に8,300名の人口規模ということで、本市と比較すると、80分の1の面積に人口密度5倍の人々が住んでいる、非常にコンパクトで行政運営のしやすい市町なのか、という印象を受けた。生活圏について、隣接する田川市や飯塚市とほぼ同じ生活圏ということであった。平成大合併の時に合併の話はもちろんあったが、まとまらずに糸田町のまま現在も町政運営を行っている。またこのたびの視察では、議会事務局や担当課職員のみならず、森下町長みずからお出迎えいただき感謝のお言葉をいただいた。温かく、心のこもった歓迎を受けた。

【所感】

座学を受講したあとに現地へ移動したが、座学での印象よりも実際の建物のほうが大きく、広いように思った。オープンから13年が経過しており、隣接する国道201号線は北九州市と福岡市をつなぐ物流の主要線のため好立地条件、車が絶えることがない。町長が代表取締役を務める第三セクターの株式会社いとだが運営しており、オープン以来、売上は右肩上がりである。平成29年度に売上3億円を突破し、令和6~7年度には4億円を目指して日々運営に当たっているとのこと。オリジナル商品開発にも熱心に取り組んでおり、発売したばかりの新味だという抹茶ようかんを試食させていただいた。とても濃厚でおいしく、特産品だというホルモン鍋の素と併せて全員購入させていただいた。

一方で改善点として、以下の3点を挙げていた。

①として商品の品薄状態解消。スペースの広さとしては申し分なく思えたが在庫が安定しないとのことで、ここについては出荷者組合と協議し、商品の充実を図りたいということであった。②として糸田町農家の出品数。じつは出荷者組合400名のうち、糸田町農家は3割弱ということであった。対策として令和6年4月より「糸田町有機農業就農応援事業」を開始し、受講料の助成を行っているとのこと。③として集客力向上のための魅力あるフードコート作り。フードコートは現地に着した16時には閉まっていたため営業の様子を見ることは叶わなかったが、屋根付きで雰囲気もよさそうに思えた。是非次回立ち寄れる際には拝見しておきたい。

道の駅は土地それぞれ特色も千差万別である。道の駅いとだの良いところを吸収し、本市の農水産業振興にしっかりと生かしていきたい。

自由民主党周南 会派視察報告

視察日時：令和6年10月24日（木） 11：00～15：00

視 察 先：唐津競艇場

視察内容：唐津競艇の運営（モーヴィからつ）

佐賀県唐津市の唐津競艇場を視察した。

唐津競艇場は昭和28年8月7日に唐津市栄町・松浦川河口で初開催された。昭和50年1月に現在地唐津市原・松浦川河畔公園内へ移転。

施行者は唐津市の単独でモーターボート競走事業を運営している。

唐津競艇では徳山競艇と同じモーニングレースを平成23年より開始している。

令和5年度、売上高は914億3818万9800円を計上している。純利益70億2693万911円あり、一般会計への繰り出しは徳山競艇と同じ40億円である。

施設では水面は淡水で徳山競艇場の海水とは違い人工的に造られたプール型の水面で硬くて跳ねやすいので乗りづらいと言われている。

令和3年度よりスタンドがリニューアルされ、1階にコミュニティエリアが新設された。

- ①イベントホールは350人収容可能なホールがある。
- ②ブックカフェでは51人の座席がある。
- ③フードコートは214人分の座席があり、3店舗が入っている。
- ④キッチンスタジオがあり20人が使用できる。
- ⑤音楽スタジオではドラムセットやPAもある音響設備があり練習できる。
- ⑥ボルダリング施設がある。60人が使用できる。
- ⑦モーヴィからつでは216人が使用できる施設がある。

コミュニティエリアの利用状況（総利用者数）

年度	モーヴィ	イベントホール	ボルダリング	キッチンスタジオ	音楽スタジオ
令和3年度	16,216	1,701	4,468	463	314
令和4年度	61,270	13,829	13,859	1,573	1,184
令和5年度	81,476	19,883	15,875	2,547	1,463

令和3年11月27日スタンド棟をリニューアルしてから令和4年度にコロナ禍でモータースポーツは閉鎖期間や定員を80名で運営したりしているが、大幅に利用者数はアップしている。

スタンドリニューアルする経緯はスタンドの老朽化もあるが、ボートレースの発売形態の変化により来場者の減少が進み、スタンド棟の機能の見直しが必要となっていた。これは徳山競艇場にも同様なことが言える。

新しいスタンドのコンセプトは、地域貢献できるような施設、施設利用者に優しい施設と、まさに地域に寄り添う施設へとなっていた。ぜひ、徳山競艇場も参考にさせていただきたいと願います。

また徳山競艇場には芝生広場もありますので、スタンド棟の利用方法の改善と併せてパーク化を進めて欲しいです。そうすることで来場者もアップして売上にも反映され地域から期待される施設になるのではないかと思います。

この度の唐津競艇場の視察にて、どの競艇場においても試行錯誤しながら売り上げアップするために努力していること、地域に貢献する姿勢を学びました。これからの徳山競艇場パーク化に活かしていければよいと感じました。

以上